

第97号

令和2年1月12日 発行

編集・発行

(一社)新潟県サッカー協会広報委員会



NiFA NEWS

謹賀新年

“サッカーファミリーと心をひとつに”

挑戦・更なる飛躍!



公益財団法人 日本サッカー協会
会長 田嶋 幸三

オリンピックイヤーの幕明け
明けましておめでとう
ごさいます。

日本サッカーの2020年は天皇杯JFA全日本サッカー選手権大会の決勝で幕を開けました。超満員の観客で盛り上がる国立競技場のスタンドを見て、オリンピックが近づいていることを実感しました。

日本人にとってオリンピックは特別な大会です。ましてや自国開催。日本サッカー協会(JFA)としては、「金メダル」を目標にチーム強化を進めている森保一、高倉麻子両監督をしっかりとサポートし、メキシコオリンピックを超える成績で「新しい景色を」見たいと考えています。

現在、U-23日本代表はオリンピック予選となるAFC U-23選手権を戦っています。日本を除く15チームにとってはし烈な出場権争いです。日本は予選を免除されていますが、アジアの頂点を目指さない限り、オリンピックでの躍進はありません。森保監督の下、若きサムライたちは「ジャパンズ・ウェイ」を体現するサッカーを見せてくれるはず。

一方、SAMURAI BLUE(日本代表)は3月からアジア2次予選の後半戦に臨みます。最終予選を突破して本大会でベスト

8以上の成績を残すことが日本サッカー最大の目標です。オリンピックで好成績を挙げ、最終予選の原動力にしたいと思っています。

女子サッカーの発展に向けて
JFAは12月12日、FIFA(国際サッカー連盟)にFIFA女子ワールドカップ2023の開催提案書(招致ブック)など最終書類を提出しました。

日本サッカーは女子の全カテゴリーでワールドカップを制覇していきたく、技術力や組織力、フェアネスとリードしていきたく、日本の大会運営能力、おもしろいところ、世界をリードしていきたく、多目的グラウンドが大会の開催候補地として挙がっています。

新潟は十日町市間が期待されます。新潟は十日町市間多目的グラウンドが大会の開催候補地として挙がっています。

FIFAワールドカップの日韓大会でクロアチアがキャンプを行って以降、多くの実績を重ねてきた施設で、海外チームにとっても馴染みある場所です。日本開催が決まった暁には海外チームやファン同士の交流が育まれることとでしょう。日本招致が決まり、十日町市が

キャンプ地に選ばれることを祈っています。女子プロリーグも2021年の開幕を目指して準備を進めています。東京2020、翌年の女子プロリーグ創設、2022年からの

国体少年女子(U-16)新設、そして、2023年の女子ワールドカップと、この4年間は女子サッカーの発展において極めて重要な時期になります。世界ではほとんど成功例のない女子プロリーグを成功させて世界の女子サッカーをリードし、さらには女性活躍社会の一翼を担う存在になりたい。そういう

サッカークラブの持続的発展を目指して
スポーツは、地域コミュニティの醸成や青少年の健全な育成といった重要な役割を果たします。少子高齢化が進んでいますし、A



一般社団法人 新潟県サッカー協会
会長 柄沢 正三

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては佳い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国各地で大型台風並びに豪雨による大規模な災害が発生しました。未だに多くの方が困難な環境におられます。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。本年は、このような災害がないことを切に望んでおります。

さて、当協会は、多くのサッカーファミリーのご支援ご協力を得て事業を遂行しております。また、理事・常務委員はじめ委員会・地区サッカー協会並びに各種連盟の役員・委員等、多くの方のご尽力により運営されております。関係の皆様により感謝申し上げます。

現在、北信越地域のレベルは格段に上昇しております。新潟県勢が苦杯を舐める結果も

みられております。その中であって、委員会は各組織は、強化育成に努められ新潟県のレベル向上につなげております。各々のカテゴリーで結果を出し、新潟県のサッカーが全国レベルにあることを証明しております。強化育成に携わる多くの皆様の情熱と真摯な取り組みが続いております。

今も、少子高齢化、都市部一極集中は進行し、更にその速度は高まっております。広い新潟県をどのようにカバーし、サッカースポーツを拡大するか。協会全体で取り組みを模索しております。我々の理念である「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する」に今一度立ち返り活動することとがこの困難に立ち向かう一歩であります。

そのために、協会関係者をはじめ多くのサッ

た意味でも2020年は、女子サッカーのさらなる発展に向けたスタートの年になるのではないのでしょうか。

1964年の東京オリンピックは日本に近代化をもたらしました。21世紀の日本で

新潟県では、高校生のサッカーが大変な人気を博しております。人気・実力を備えた強豪チームの白熱した試合、強豪チームに挑む各校の姿は多くのファンを虜にしています。

育成年代から一貫した組織を構築した構造が魅力あるチーム・選手を創出し、目を離せない展開であります。また、この中からプロを供に努めてまいりました。昨年9月にシテイホールプラザアオーレ長岡においてフットサル日本代表国際親善試合(対タイ代表)を開催しました。フットサル国際試合、長岡市での大規模大会開催は、いづれも当協会において初の取り組みです。日本代表の事前合宿を含め約10日間の取り組みは、フットサル委員会・長岡市・長岡市サッカー協会は地元の皆様のご支援により素晴らしい大会となりました。満員の会場は熱気にあふれ、フットサル強豪チームがひしめく長岡市での開催は多くのファンに感動を与えました。この成果を、今後の代表チームの招致に繋げるべく更に活動してまいります。

4種年代は、少子化の影響を直接受ける場所でもあります。当協会はこの年代がサッカーを通じて将来につながる重要な年代と位置付けます。地道な巡回指導を続けているキッズ委員会との融合から次の世代への道筋をつけることは協会の重要な仕事であります。また、4種年代から女子登録につながる女性たちに大きな夢を与えることも大切な使命であります。各カテゴリーを連動させ、子どもたちを(サッカーに縛るのではなく)ス

ポーツの世界に進ませたいと考えます。そのため委員会の垣根を超えた活動を実施していきます。多くの子どもたちにスポーツの魅力と感動、そしてフェアプレーの精神を伝えたいのです。皆様の期待とご支援をお願いいたします。

昨シーズンのアルビレックス新潟は、J1復帰が叶わず苦しいシーズンを終えました。早々に新監督就任を発表し新体制の中、新たなシーズンを迎えました。新潟県のサッカー醸成に欠くことのできないチームの今年こそその躍進を期待します。アルビレックス新潟レディースは、新たな組織の中で昨シーズンを戦いました。サッカー少女の憧れのチームとして勝利に向け邁進する姿が子どもたちに希望と共感を与えてくれるはず。新潟県サッカー協会は県民の夢を背負う両チームを応援してまいります。

当協会はサッカーを「する人」「関わる人」に偏りがちな告知・広報活動を「見る人」「関心のある人」など、よ

基盤を整えていくことが重要です。今年も新潟県サッカー協会をはじめとする47都道府県協会の皆さんと手を携え、日本サッカーのさらなる発展のために努力してまいります。

新潟県のサッカーファミリーの皆様におかれましては今年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

今年も新潟県サッカー協会をはじめとする47都道府県協会の皆さんと手を携え、日本サッカーのさらなる発展のために努力してまいります。

新潟県のサッカーファミリーの皆様におかれましては今年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

多くの皆様にお伝えする活動を始めました。多くの方にサッカーを知り触れていただく機会を創出したい。そして、「やりた

「やらせたいスポーツ」となることを目指します。障がい者や年配の方にも取り組んでいただけにスポーツとして広げてまいります。

県協会は、協会の持つ理念が相通する多くの企業・団体と協働してまいります。夢や希望をサッカー文化として伝えることを共に連携したいと思っております。

最後に、会員の皆様にとりまして本年が更なる飛躍の年になりますよう心からご祈念申し上げます。また、協会の事業推進にご支援賜ります日本サッカー協会・北信越サッカー協会・新潟県各自治体・関係企業及び県内サッカーファミリーの皆様

に心から感謝申し上げます。また、ご発展をお祈りし新年の挨拶いたします。

夢に向かって ★★★★★★

FC.FORTEZZA 平塚 陽聖

ぼくは、幼稚園からサッカーを始めました。身体を動かす事が大好きで、サッカーをしてみようと思いました。サッカーで初めて学んだ事があります。

まず、チームワークの大切さです。サッカーは1人ではできないスポーツなのでチームメイトとコミュニケーションを取り合い、時にはぶつかる時もありましたが一緒に喜ぶ気持ち、負けて悔しい気持ちを分かち合ってきました。そして、保護者への感謝です。なぜ保護者への感謝を大切にするのかというと、両親、コーチがいないと、サッカーの送り迎えや応援、指導をしてくれる人がいないからです。この気持ちを忘れずに、中学へ行っても大好きなサッカーを夢に向かってがんばっていきたいと思います。

ぼくの・わたしの

夢

「ぼくの将来の夢」 ★★★★★★

リアル加茂FC 阿部 晃佑

ぼくの将来の夢、は二つあります。プロサッカー選手になることと、なれなくてもサッカー選手をサポートする仕事につくことです。

一年生からサッカーを始め、毎日練習や試合がありました。自分よりも上手い、強い選手がいれば追いつくために練習をしました。目標にしていた選手のいるチーム相手に勝った時はうれしく、今まで以上にサッカーが大好きになりました。いつもコーチに言われている「もっと声を出せ。」を忘れずに練習しています。

そして今までいっぱいケガをしてきました。一生サッカーができないと思うようなケガもして、手術で治してもらい感動しています。

いろいろな人のおかげで、サッカーをしてこられました。感動を忘れずに夢をかなえたいです。そして、生涯サッカーを大好きでいたいです。

★★★★★★

早通中学校 橋本 海音

ぼくの目標は試合でたくさん点を取る事と、アシストやサポートができる選手になることです。そのために二つのことをがんばりたいです。

一つ目は、点を取るために1対1に負けない事です。ボールのもらい方をもっと意識し、細かいタッチのドリブルでボールを運んで中にえぐったりできるようにしたいです。1対1に勝つことで、シュートを決める場面やアシストする場面を増やしていきたいです。

二つ目は、トラップ、ターン、落としの精度を上げることです。今はプレッシャーがあるとミスをしてしまう事が多いです。精度をあげるために部活以外に今まで以上に自主練習を行い、空き時間に練習をやると思います。来年必ず早通中サッカー部の目標達成したいです。そして早通中サッカー部のエースストライカーになりたいと思います。

ぼくらの活動で、サッカーの楽しさがいろいろな人に伝わって、プレイする人が増えたらいいなと思います。

私の夢 ★★★★★★

荒川町サッカー少年団 米野 紗良

私の将来の夢は、なでしこジャパンの選手になることです。私のあこがれの選手は元なでしこジャパンのさわほまれ選手です。さわほまれ選手のような「ぜったい点を決めてやる」という強い気持ちをもった選手になり、ワールドカップに出てピッチに立ち、自分の得点で試合に勝ちたいです。そのためにはまだまだぜんぜんだけど、一対一が強い選手になりたいです。そして味方からパスを受け、ドリブルでかわし、シュートにつなげたいです。遠くからも強いシュートが打てるようになりたいし、ゴールを決めて味方にほめてもらいたいです。今よりもっと強くなって、いつかなでしこジャパンの一員としてワールドカップの試合でピッチに立てるよう、チームの練習に励んでいます。

★★★★★★

FC LAZO 山本 敬太

高校でも、中学時代に学んだ事を無駄にせず、サッカーに全力で取り組んでいきたいです。1年生の時は、同年代に約30人チームメイトがいました。スタメンで試合にでることも難しかったです。やっとできるようになった時にはオスグットになっていました。そのため大会や練習試合にほとんどでられずに1年間を終えました。2年生になった時には、チーム事情もあり、最初は全学年でやっと試合ができるような人数でした。苦しい時期ではありましたが、そこでチームメイトの大切さに気付くことができました。3年生の時にはキャプテンになりました。責任感を持つこと、力強くチームメイトを引っ張る事を学びました。

自分は3年間でたくさんの経験を積み、様々な事を学びました。お世話になった監督、コーチには本当に感謝しています。これらの経験を無駄にしないためにも、高校でサッカー部に入り、新しいチームメイトやスタッフとともに、目標におかかって頑張りたいと思います。

私の夢はなでしこジャパンの選手になることです ★★★★★★

UNITE新潟FC 上原 芽紗

私の夢はなでしこジャパンの選手になることです。私は小学1年生の時、兄の影響でサッカーをはじめました。サッカーが楽しくて大好きですが、うまくいかなかったり試合に勝てなかったりつらい時もあります。そういう時にはチームメイトがとても支えになっています。サッカーはチームプレーです。人数が集まらないと試合はできません。今こうしてチームのみんなとやれている事は当たり前ではないので、これからもずっと仲間を大事にしていききたいと思っています。今、小学校最後の公式戦、東北電力杯の地区予選中です。UNITEの仲間と試合ができるのも残り少ないので、一試合でも多く勝ち上がり、悔いが残らないようにしたいです。

来年からはアルビレックス新潟レディースU15に入団します。夢を叶えるためにより一層頑張ろうと思います。

教えてくれるコーチや応援してくれる家族、友達への感謝を忘れず、これからも大好きなサッカーを楽しんでいききたいです。

グランセナレディース 宮野ひいろ

私には目標があります。それはグランセナレディースの先輩のように、オフザピッチでもオンザピッチでもかっこよいと、みんなから憧れる人になるということです。

オンザピッチでは、1対1で絶対に負けないディフェンス力や相手からこの人にボールを持たせたくないと思われるほどの技術力がある選手になりたいです。そのために、サッカーの練習を常に真剣にとりこんでいきたいです。

オフザピッチでは、あいさつがしっかりでき、感謝の気持ちをいつも忘れず、いつもみんなに優しく頼れる先輩たちに憧れています。自分もそんな先輩たちのようにになりたいです。そのために、学校生活から挨拶を自分からしていきたいです。また何気ない日常の生活でありがとうと人に伝えられるよう意識をして生活をしていきたいです。

憧れの先輩をいつか越せるように、オンザピッチ、オフザピッチとも一生懸命取り組んでいきたいです。

優勝 第98回全国高等学校サッカー選手権大会 新潟県大会 2年連続 帝京長岡高等学校 優勝!



第98回全国高等学校サッカー選手権大会 新潟県大会 試合結果

- 優勝 帝京長岡高等学校
- 準優勝 日本文理高等学校
- 第3位 北越高等学校
- 第4位 新潟明訓高等学校

12月1日(日) 決勝戦 12:20～
デンカビッグスワンスタジアム
帝京長岡 1-0 日本文理

帝京長岡高等学校

サッカー部監督 古沢 徹

今年度、第98回全国高校サッカー選手権大会に出場させていただきに際しまして、たくさんのご支援とご声援を賜り、心より感謝申し上げます。選手、スタッフともに、昨年度の成績を上回り、悲願の全国制覇を成し遂げられるよう、練習に励んでおります。

今年度、二年連続全国大会に出場させていただいたのは、ここまで指導してくださった、3種、4種の指導者様の努力の賜物だと実感しております。本当にありがとうございます。小学、中学時代に身に着けた技術を、最高の舞台で遺憾なく発揮できるよう、全力でサポートさせていただきます。また、長岡市のサッカー協会をはじめ、地域の方々から熱い応援をいただき、選手も奮い立っているところであります。

全国大会では、多くの方々に感動と勇気を与えられるように、全国制覇を目指し、戦ってきます。

サッカー部主将 谷内田 哲平

この度、全国高校サッカー選手権に出場させていただきに際しまして、たくさんの方々にご支援、ご声援いただき、本当にありがとうございます。

私たちがこのような結果を得られたのは、学校、今までご支援くださった指導者の方々、温かく見守ってくださる長岡市内の皆様のおかげだと思っています。全国高校サッカー選手権では、その恩を結果で返せるように日本一を目標に精一杯頑張ります。そして、少しでも多くの子供たちに、夢や目標を与えられるように、多くの方々に感動と勇気を与えられるように、私たちのサッカーを全国の舞台で遺憾なく発揮し、「心美しく勝つ」ことを念頭に戦ってきます。是非、多くの方々に会場やテレビで応援していただけたらと思います。宜しくお願い致します。

JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会

グループB

第1節 2019年12月26日 9:30～
グランセナ新潟FC(新潟) 3-3 オオタFC(岡山)
ふれあいスポーツランド ピッチ(3)

第2節 2019年12月26日 13:15～
グランセナ新潟FC(新潟) 4-4 前橋ジュニア(群馬)
ふれあいスポーツランド ピッチ(6)

第3節 2019年12月27日 9:30～
グランセナ新潟FC(新潟) 1-1 鶴岡Jr.FC(山形)
ふれあいスポーツランド ピッチ(2)

第28回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

1回戦 2020年1月3日 13:45～
開志学園JSC高等部(北信越1/新潟) 4-4(PK6-5) 秀岳館高等学校(九州4/熊本)
五色台運動公園サブグラウンド

2回戦 2020年1月4日 13:45～
開志学園JSC高等部(北信越1/新潟) 0-0(PK3-5) 東海大学付属福岡高等学校(九州2/福岡)
みきぼうパークひょうご第2球技場

1回戦 2020年1月3日 10:30～
帝京長岡高等学校(北信越2/新潟) 4-1 広島文教大学附属高等学校(中国2/広島)
五色台運動公園サブグラウンド

2回戦 2020年1月4日 10:30～
帝京長岡高等学校(北信越2/新潟) 0-1 神村学園高等部(九州1/鹿児島)
三木総合防災公園第2陸上競技場

新潟県勢 初のベスト4

第98回全国高等学校サッカー選手権大会

2回戦 2020年1月2日 14:10～
帝京長岡高等学校(新潟) 3-0 熊本国府高等学校(熊本)
ニッパツ三ツ沢球技場

3回戦 2020年1月3日 12:05～
帝京長岡高等学校(新潟) 5-0 神戸弘陵学園高等学校(兵庫)
等々力陸上競技場

準々決勝 2020年1月5日 14:10～
帝京長岡高等学校(新潟) 1-0 仙台育英学園高等学校(宮城)
等々力陸上競技場

JFA第23回全日本U-18女子サッカー選手権大会

1回戦 2020年1月3日 13:30～
アルビレックス新潟レディースU-18(北信越/新潟) 0-2 INAC神戸レオンチーナ(関西1/兵庫)
J-GREEN堺(S5)

第28回全日本大学女子サッカー選手権大会

1回戦 2019年12月24日 11:00～
新潟医療福祉大学(北信越1/新潟) 2-3 静岡産業大学(東海1/静岡)
みきぼうパークひょうご第2球技場